

長期的視野で共に取り組む 未来の池袋駅西口のまちづくり

三菱地所株式会社
再開発事業部長兼池袋開発推進室長

吉田 誉様



この度は、創立125周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

貴社は鉄道事業を中心に、様々な事業を通じて沿線地域の発展に貢献されてきました。特に、貴社路線の中核駅であり、開業60年の歴史を誇る東武百貨店も展開される池袋駅エリアにおいては、長きにわたり、活かに富む池袋エリアのまちづくりに寄与されており、その継続的取り組みに心より敬意を表します。

弊社も、コーポレートブランドスローガンとして「人を、想う力。街を、想う力。」を掲げ、東京・丸の内エリアをはじめとして、全国各地において、様々な形でまちづくりに携わらせていただいております。池袋エリアにおいては、2016年に池袋駅西口地区の再開発準備組合様より、事業協力者として再開発事業を推進する役割を頂戴しましたが、以降、再開発地区に隣接して池袋駅の改良事業を進められる貴社と、池袋駅西

口の将来像・新しいまちづくりに向けて、多くの意見を交わしてまいりました。

池袋駅西口地区再開発事業は、池袋駅西口駅前のエリア約6.1ヘクタールを街区再編した上で再構築する国内有数の大規模プロジェクトです。本再開発では、貴社の駅改良事業とあわせて、世界でもトップクラスの乗降客数を誇る池袋駅の駅力をさらに高めつつ、駅とその周辺地域が共存共栄し、世界中から多くの方々が訪れるまちに進化することを目指しております。貴社からは再開発地区内にグローバルブランドのハイクラスホテル誘致をご検討いただく等、池袋に新たな価値を創造するための提案をいただいております。共にまちづくりを進めていく心強いパートナーと感じております。貴社の駅改良事業と池袋駅西口地区の再開発事業が完成するのは2040年代以降であり、非常に長期にわたるプロジェクトでございます。足元では、物価高、人件費高騰等に起因する工事費上昇が進み、決して良好な事業環境ではありませんが、貴社とであれば必ずやプロジェクトを完遂し、世界に誇れる新しい池袋駅西口をつくり上げることができると確信しております。

先般、貴社と共に、近隣の皆様宛てに計画説明会を実施した際、東武百貨店に関するご発言を多数頂戴しました。その多くが再開発後の営業継続を強く望む意見であり、これこそが、貴社グループがいかに池袋の皆様に愛されているかを示す証左であると感じました。これまでの125年、沿線の方々に寄り添い、愛されてこられた歴史を土台に、これからも地域の暮らしに想いを馳せた新たな事業展開により、貴社が益々のご発展を遂げることを心より祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



池袋駅西口地区再開発イメージ
(提供：池袋駅西口地区市街地再開発準備組合)

地域の経済・社会・環境の 好循環実現を目指して

日本政府観光局(JNTO)
理事

伊与田美歴様



この度、東武鉄道株式会社様が創立125周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

日本有数の観光地である日光・鬼怒川をはじめ沿線に多くの魅力的な観光地を擁する貴社と、訪日インバウンドの推進を担うわが日本政府観光局(JNTO)とのつながりは長きにわたり、JNTOの前身である特殊法人国際観光振興会の創立に際し、貴社の根津嘉一郎社長に運営審議会委員にご就任いただいた60年前に遡ります。

この間、貴社は、沿線地域の新たな観光魅力の創出や受け入れ環境の整備に地域の関係者と共に取り組んでこられました。さらに、インバウンドが注目される時代に先駆けて、地域の魅力を広く海外に向けて発信されてきました。こうした取り組みを通じて、今日に至るインバウンドの発展にご貢献いただいたことに、深く感謝し、敬意を表したいと思います。

コロナ禍により大きな打撃を受けたインバウンドは、2024年上半年には、訪日外客数が過去最高を記録するまでに回復し、年間では3,500万人が視野に入る勢いとなっています。こうした中、一部の大都市への訪日

客の集中を抑制し、快適な旅行体験を提供する観点から、日本の各地域が持つ豊かな魅力を発信し、より多くの訪日客に地方を訪れていただくことがこれまでも増して重要となっています。

JNTOにおいても、地方への誘客促進に向けて、高い旅行消費を地域にもたらす「高付加価値旅行者層」の取り込みを取り組みの柱として、国内の自治体、民間事業者の皆様と連携して戦略的なプロモーションを展開しています。

貴社におかれては、2020年7月の「ザ・リッツ・カールトン日光」開業、2021年10月の「NIKKO MaaS」サービス開始、2023年7月の「スペース X」運行開始など、コロナ禍の最中にあっても長期的な視野に立ち、付加価値の高い観光地づくりを推進してこられました。ザ・リッツ・カールトン日光を契機に奥日光の自然と文化に根差したアクティビティが開発され、海外の付加価値の高いサービスを求める旅行者や富裕層旅行関係者の中で、「NIKKO」の知名度が着実に高まっていることを実感しています。これからも、新たな挑戦により、沿線観光地のブランド力の向上をけん引していただくことをご期待申し上げます。

付加価値の高い旅行体験を求める訪日客の地方への誘客は、地域経済の活性化につながり、それによって、地域の貴重な自然、文化、環境の保全や次世代への継承につながります。インバウンドの力で、こうした地域における経済・社会・環境の好循環を、JNTOも貴社と共に実現してまいりたいと考えます。

最後になりますが、貴社の益々のご発展と東武沿線の観光産業のさらなる成長を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



タイでの訪日旅行フェアの様子